

宮崎県内経済情勢報告

平成22年4月

**財務省九州財務局
宮崎財務事務所**

1. 総 論

県内経済は、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。

先行きについては、引き続き雇用情勢や海外経済の動向などに注視していく必要がある。

【総括判断】

項 目	前回（21 年 10-12 月期）	今回（22 年 1-3 月期）	前回との比較
総括判断	厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。	厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。	

【主要項目の判断】

項 目	前回（21 年 10-12 月期）	今回（22 年 1-3 月期）
個人消費	一部に持ち直しの動きがみられるものの、引き続き低調に推移している。	低調に推移しているものの、一部に持ち直しの動きがみられる。
住宅建設	前年を下回る。	前年を上回る。
生産活動	持ち直しの動きが続いている。	持ち直してきている。
設備投資	前年度を下回る見込み。	前年度を下回る見込み。
企業収益	通期は増益見込み。	通期は増益見込み。
企業の景況感	「上昇」と「下降」が拮抗している。	「下降」超となっている。
雇用情勢	厳しい状況が続いている。	厳しい状況が続いている。

2. 各 論

（主要項目）

個人消費　〔低調に推移しているものの、一部に持ち直しの動き〕

大型小売店販売額は、衣料品は引き続き前年を下回っているものの、食料品などは前年を上回っていることから、全体では前年をやや上回っている。

乗用車の新車登録・届出台数は、軽乗用車は前年を下回っているものの、普通車、小型車は低燃費車が堅調に推移していることから、全体では前年を上回っている。

レジャー・観光施設の入場者数は、前年を上回っている。

旅行取扱高は、国内旅行、海外旅行ともに前年を下回っている。

住宅建設 [前年を上回る]

新設住宅着工戸数（２１年１２～２２年２月）は、前年を上回っている。利用関係別でみると、貸家及び分譲は前年を上回っている。

生産活動 [持ち直してきている]

電子部品・デバイス、繊維などは水準を上げている。

設備投資 [前年度を下回る見込み]

企業の設備投資計画を法人企業景気予測調査（２２年１～３月期調査）でみると、２１年度は、製造業ではパルプ・紙、非鉄金属などを中心に前年度を下回り、非製造業では小売などを中心に前年度を下回っており、全産業では前年度を下回る見込みとなっている。

２２年度は、製造業では前年度を上回り、非製造業では前年度を下回っており、全産業では前年度を上回る見通しとなっている。

企業収益 [増益見込み]

企業の経常利益を法人企業景気予測調査（２２年１～３月期調査）でみると、２１年度通期は、製造業では化学、食料品などを中心に減益見込み、非製造業では建設、小売などを中心に増益見込みとなっており、全産業では増益見込みとなっている。

２２年度通期は、製造業、非製造業ともに増益見通しとなっている。

企業の景況感 [「下降」超となっている]

企業の景況感を法人企業景気予測調査（２２年１～３月期調査）でみると、現状の景況判断ＢＳＩは、前期（２１年１０～１２月期調査）に比べ、製造業では「下降」超に転じ、非製造業では「下降」超幅が縮小しており、全産業では「下降」超となっている。

雇用情勢 [厳しい状況が続いている]

有効求人倍率は低水準で推移している。新規求人数は前年並みとなっており、新規求職申込件数は前年を下回っている。

(その他の項目)

公共事業 公共工事請負金額（２１年度累計）は、前年度を下回っている。

農 業 和牛のと畜頭数は前年を上回り、価格は前年を下回っている。
豚はと畜頭数、価格ともに前年を上回っている。
ブロイラーの出荷羽数は前年を上回り、価格は前年を下回っている。
野菜の生産量は前年を上回り、価格は前年を下回っている。

倒 産 企業倒産（２２年１～３月）は、件数は前年を下回っており、負債金額は前年を上回っている。

消費者物価 宮崎市の消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を下回っている。

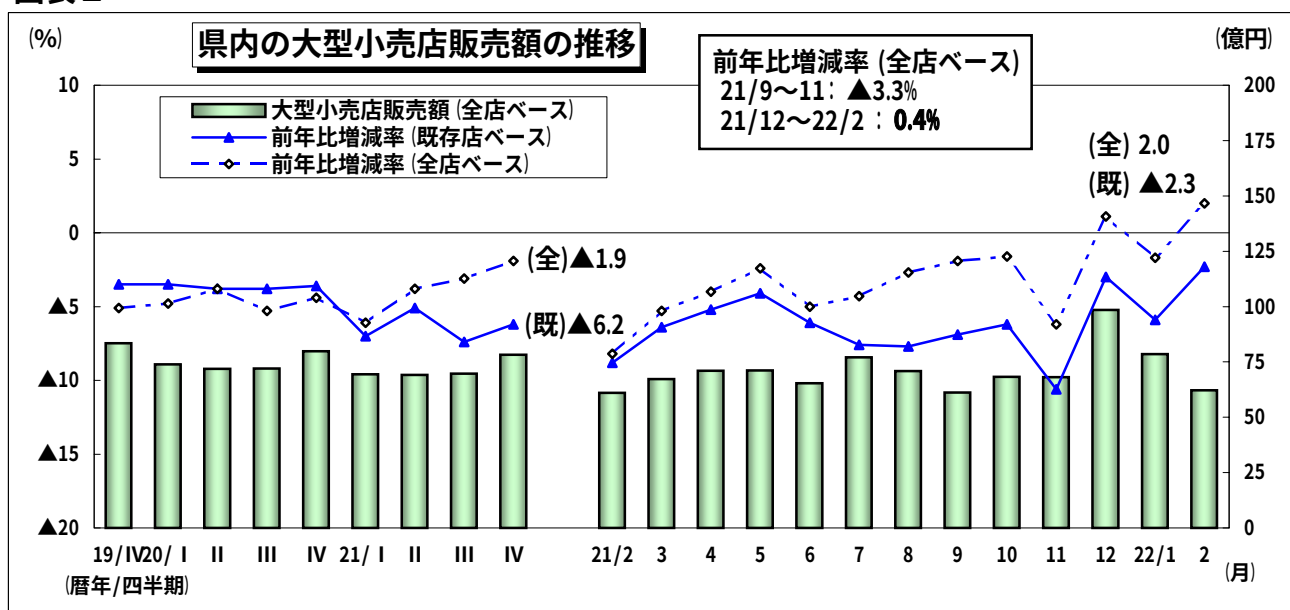
参 考 資 料

1. 個人消費 P. 1
2. 住宅建設 P. 3
3. 生産活動 P. 4
4. 設備投資 P. 5
5. 企業収益 P. 6
6. 企業の景況感 P. 7
7. 雇用情勢 P. 8
8. 公共事業 P. 9
9. 農 業 P. 10
10. 倒 産 P. 12
11. 消費者物価 P. 13

1. 個人消費

個人消費は、低調に推移しているものの、一部に持ち直しの動きがみられる。
 大型小売店販売額は、衣料品は引き続き前年を下回っているものの、食料品などは前年を上回っていることから、全体では前年をやや上回っている。
 乗用車の新車登録・届出台数は、軽乗用車は前年を下回っているものの、普通車、小型車は低燃費車が堅調に推移していることから、全体では前年を上回っている。
 レジャー・観光施設の入場者数は、前年を上回っている。
 旅行取扱高は、国内旅行、海外旅行ともに前年を下回っている。

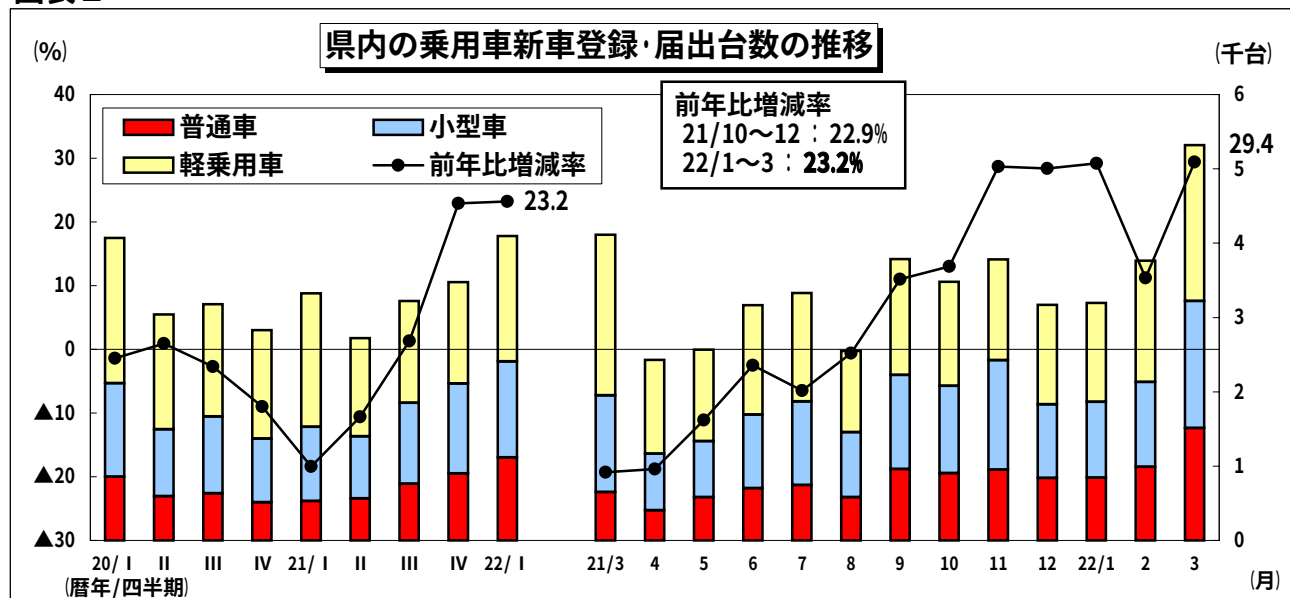
図表 1



※四半期の棒グラフは月平均。21年の計数については年間補正済み。

資料：経済産業省

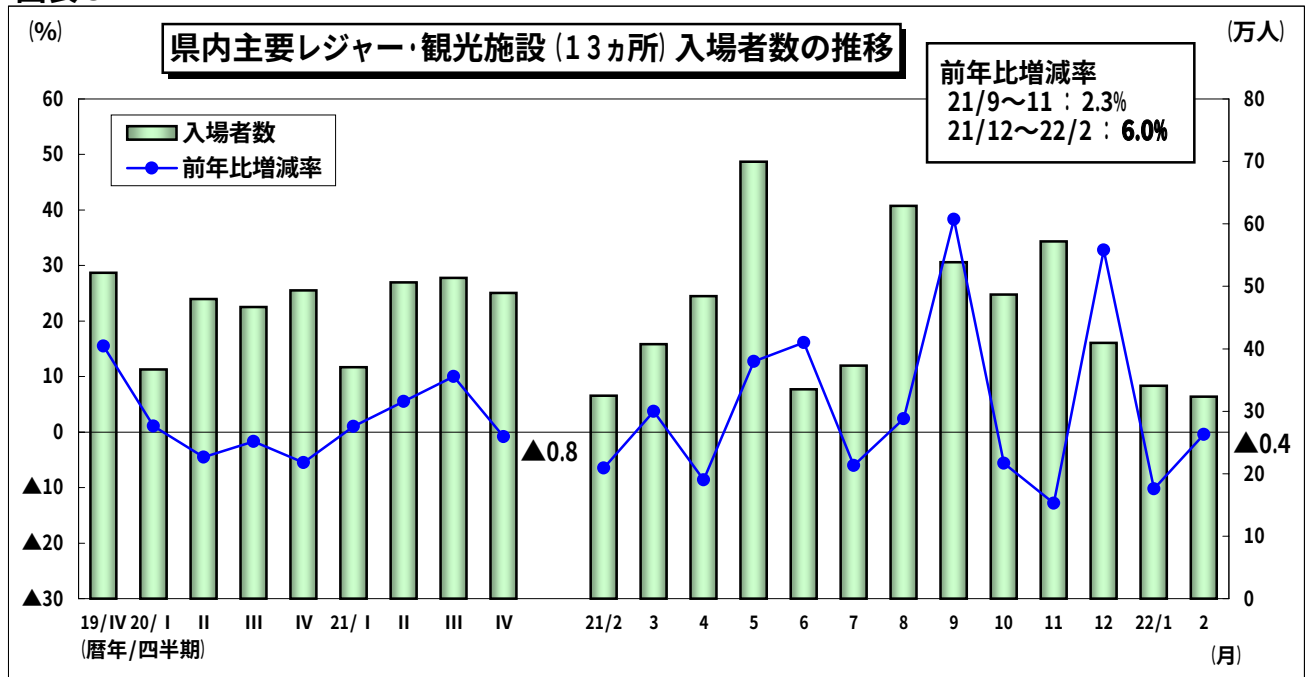
図表 2



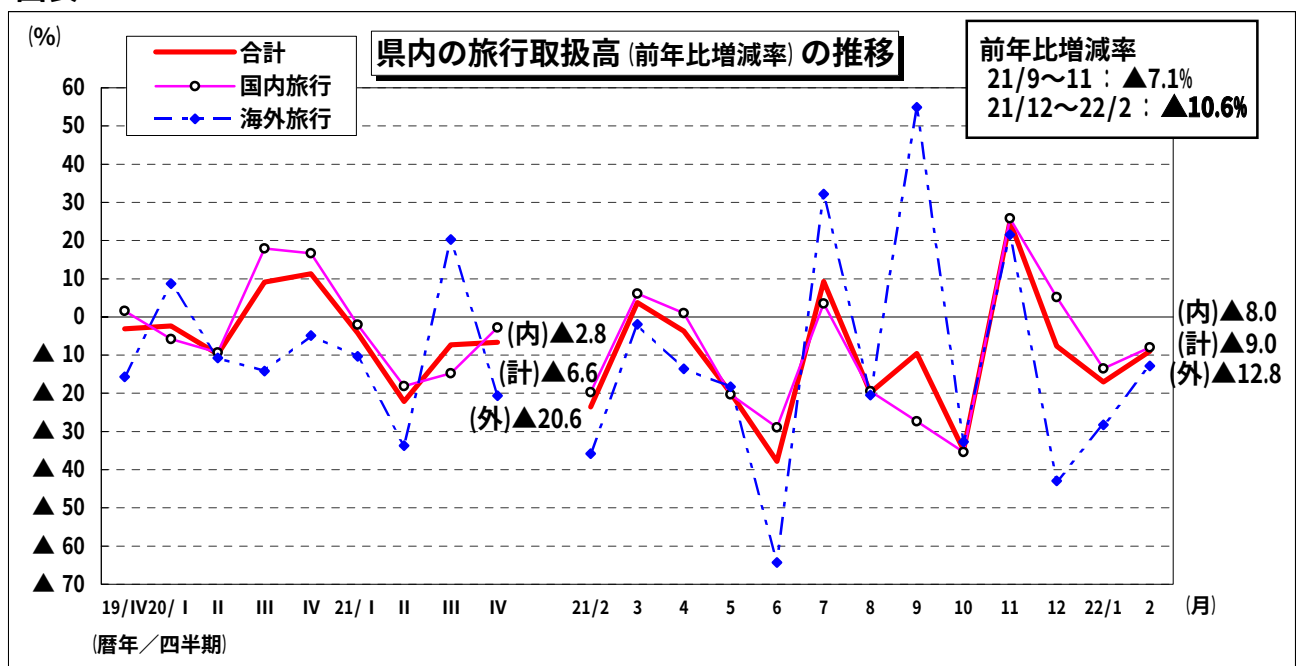
※四半期の棒グラフは月平均

資料：宮崎運輸支局、宮崎県自動車販売協会、軽自動車協会

図表 3



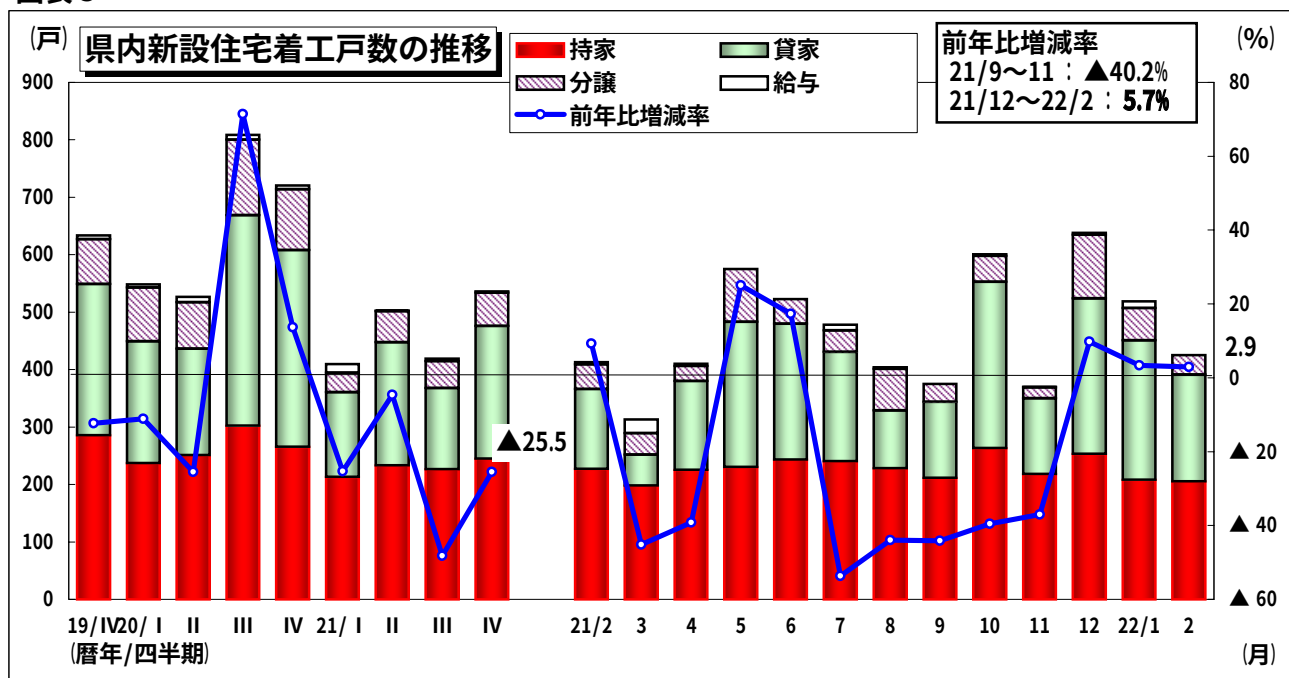
図表 4



2. 住宅建設

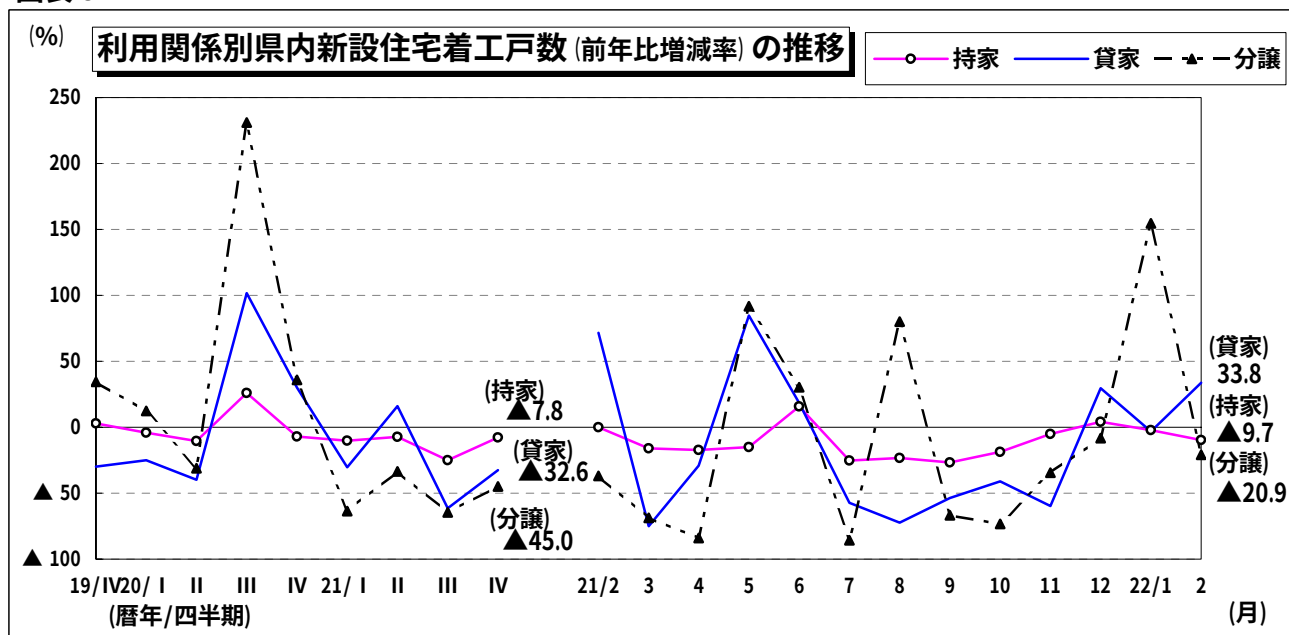
住宅建設の動向を新設住宅着工戸数（21年12～22年2月）でみると、前年を上回っている。利用関係別でみると、貸家及び分譲は前年を上回っている。

図表 5



資料：国土交通省

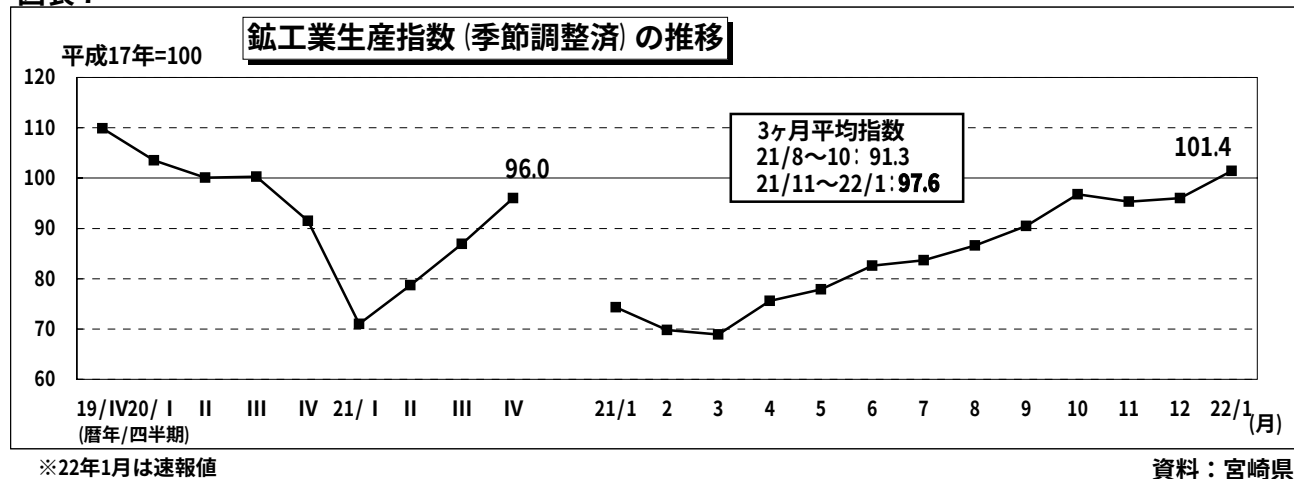
図表 6



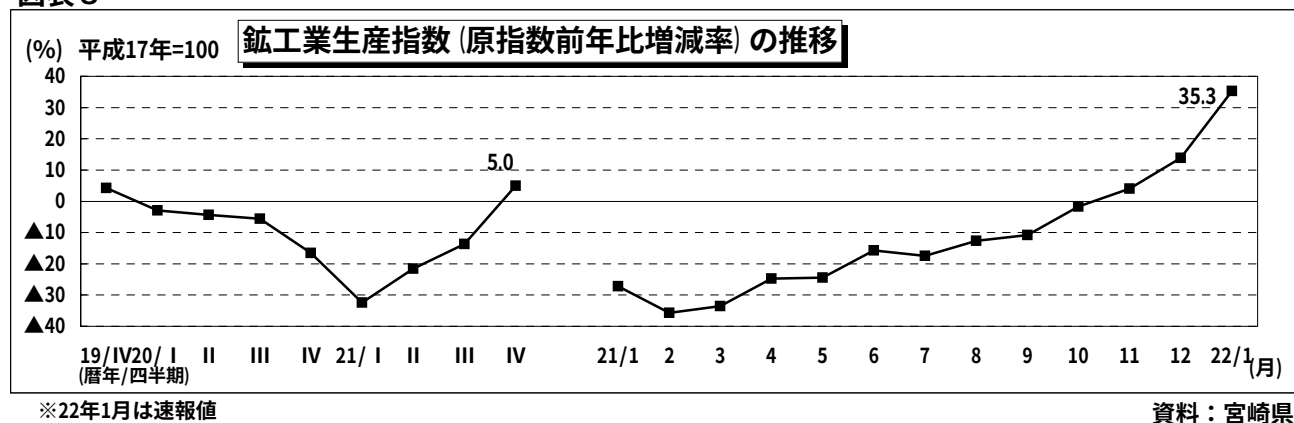
3. 生産活動

生産活動は、持ち直してきている。
主な業種をみると、電子部品・デバイス、繊維などは水準を上げている。

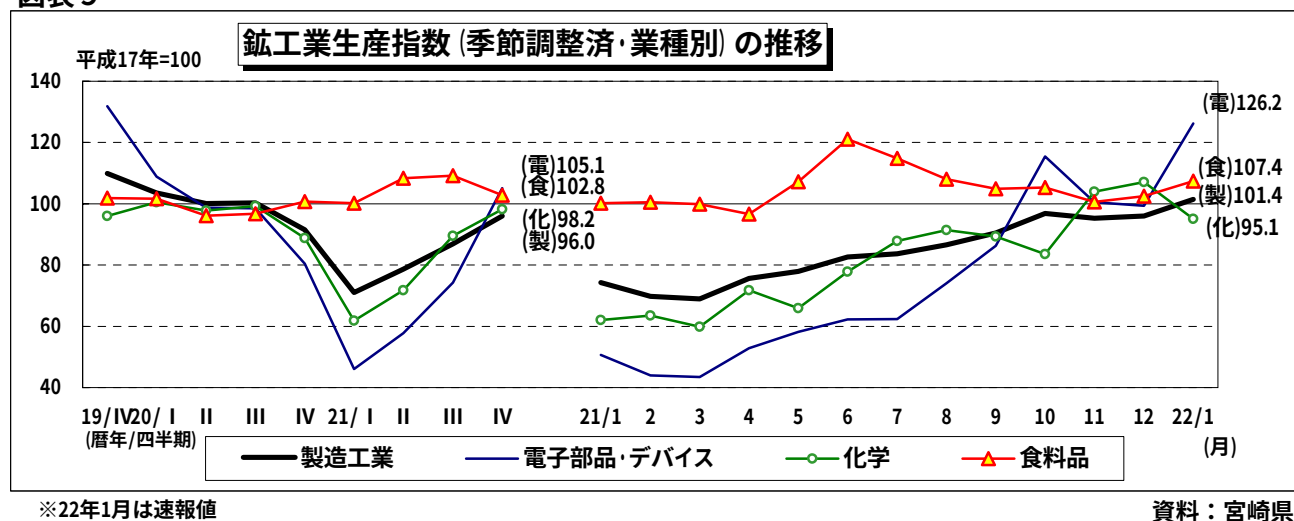
図表 7



図表 8



図表 9

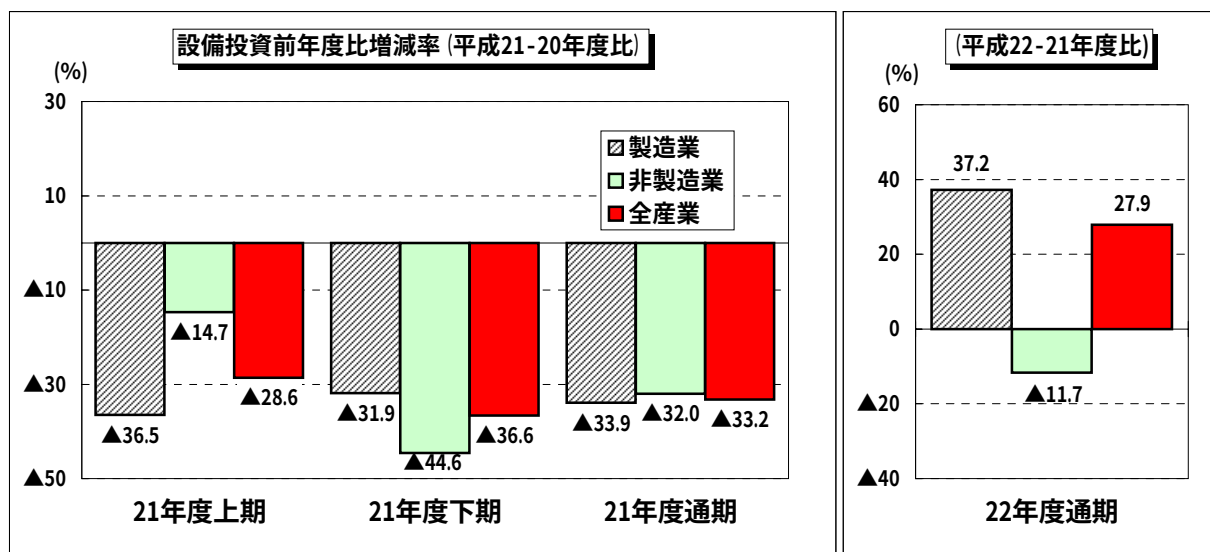


4. 設備投資

企業の設備投資計画（石油・電気・ガス、金融・保険業を除く）を法人企業景気予測調査（22年1-3月期調査）でみると、21年度は、製造業ではパルプ・紙、非鉄金属などを中心に前年度を下回り、非製造業では小売などを中心に前年度を下回っており、全産業では前年度を下回る見込みとなっている。

22年度は、製造業では前年度を上回り、非製造業では前年度を下回っており、全産業では前年度を上回る見通しとなっている。

図表 10



新規設備投資（前年度比増減率）

（単位：社、%）

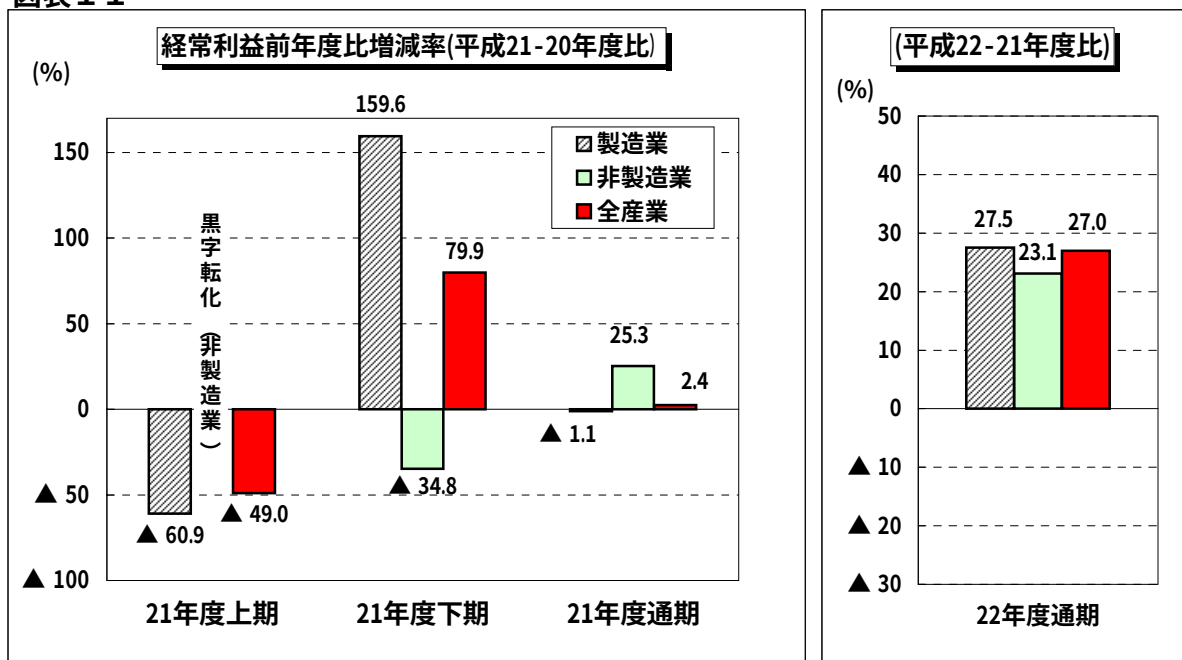
	回 答 企業数	21 年 度			回 答 企業数	22 年 度
		上 期	下 期	通 期		通 期
全 産 業	77	▲28.6	▲36.6	▲33.2	71	27.9
製 造 業	32	▲36.5	▲31.9	▲33.9	31	37.2
非製造業	45	▲14.7	▲44.6	▲32.0	40	▲11.7
規 大 企 業	14	▲25.5	▲57.2	▲46.7	12	37.5
模 中 堅 企 業	28	▲26.0	9.7	▲8.8	27	▲9.7
別 中 小 企 業	35	▲34.5	▲8.2	▲22.9	32	107.7

[資料：宮崎財務事務所 22年1-3月期調査]

5. 企業収益

企業の経常利益（石油、電気・ガス、金融・保険業を除く）を法人企業景気予測調査（22年1-3月期調査）でみると、21年度通期は、製造業では化学、食料品などを中心に減益見込み、非製造業では建設、小売などを中心に増益見込みとなっており、全産業では増益見込みとなっている。
22年度通期は、製造業、非製造業ともに増益見通しとなっている。

図表 1 1



経常利益（前年度比増減率）

(単位: 社、%)

	回 答 企業数	21 年 度			回 答 企業数	22 年 度 通 期
		上 期	下 期	通 期		
全 産 業	68	▲49.0	79.9	2.4	58	27.0
製 造 業	31	▲60.9	159.6	▲1.1	30	27.5
非製造業	37	黒字転化	▲34.8	25.3	28	23.1
規 大 企 業	13	▲81.5	27.9	▲41.0	11	83.7
模 中堅企業	27	▲67.7	3151.6	38.1	24	20.7
別 中小企業	28	17.0	21.6	19.8	23	6.2

[資料: 宮崎財務事務所 22年1-3月期調査]

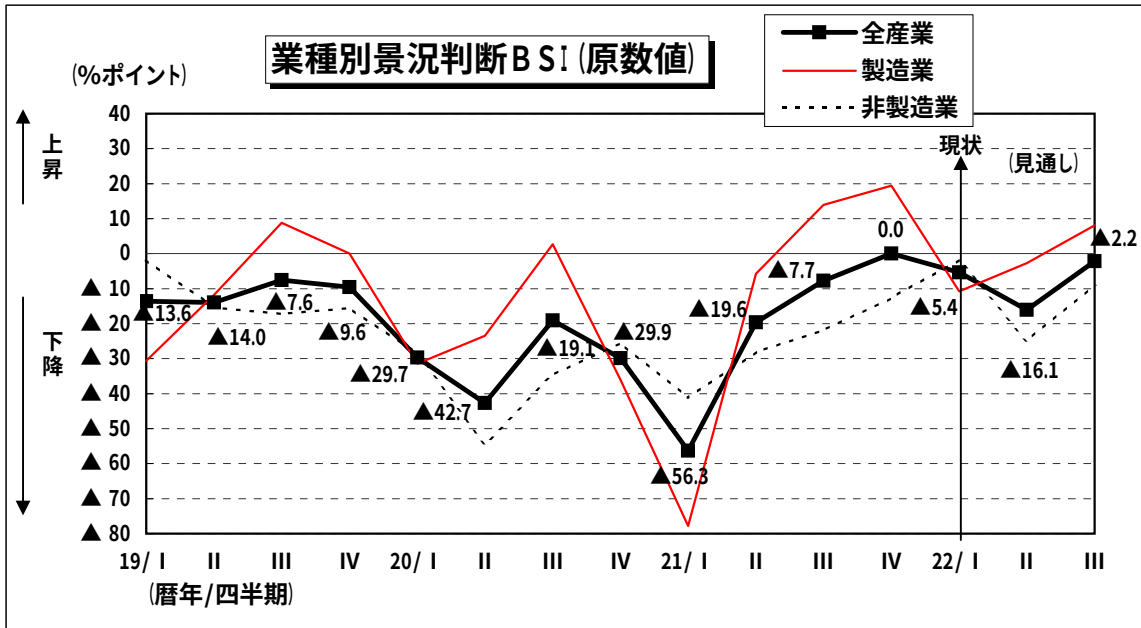
6. 企業の景況感

企業の景況感を法人企業景況予測調査（22年1-3月期調査）でみると、現状の景況判断BSIは、前期（21年10-12月期調査）に比べ、製造業では「下降」超に転じ、非製造業では「下降」超幅が縮小しており、全産業では「下降」超となっている。

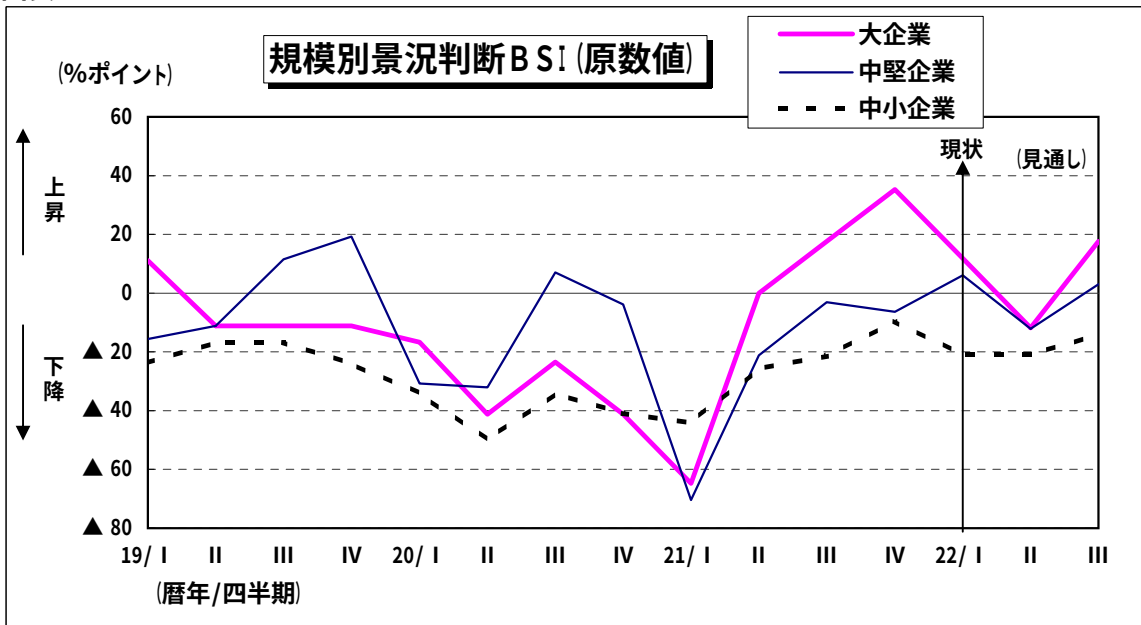
また、規模別にみると、大企業では「上昇」超幅が縮小し、中堅企業では「上昇」超に転じ、中小企業では「下降」超幅が拡大している。

翌期（22年4-6月期）は、全産業で「下降」超幅が拡大する見通しとなっている。

図表 1 2



図表 1 3

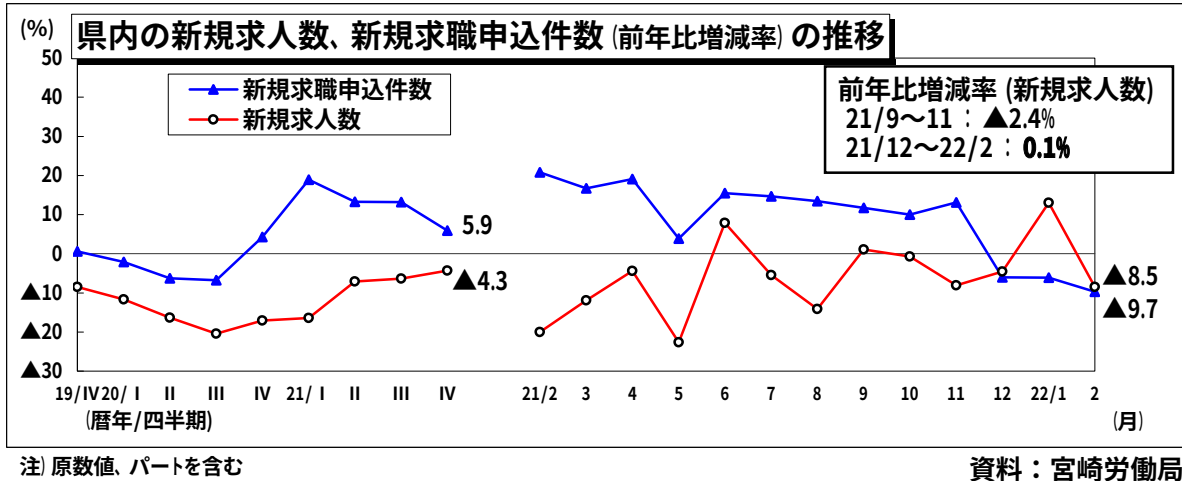


[資料：宮崎財務事務所 22年1-3月期調査]

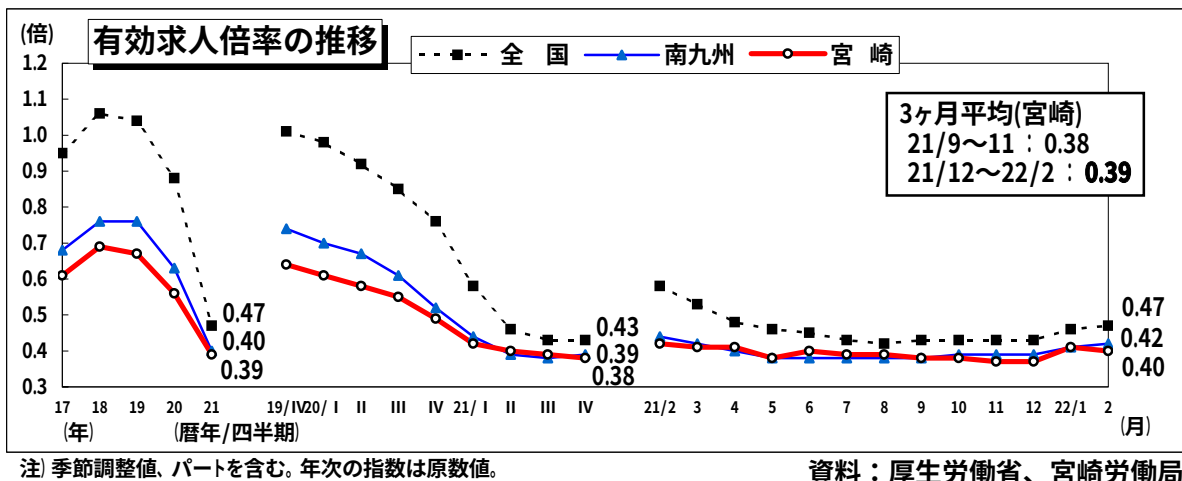
7. 雇用情勢

雇用情勢は、厳しい状況が続いている。
有効求人倍率は低水準で推移している。新規求人数は前年並みとなっており、新規求職申込件数は前年を下回っている。

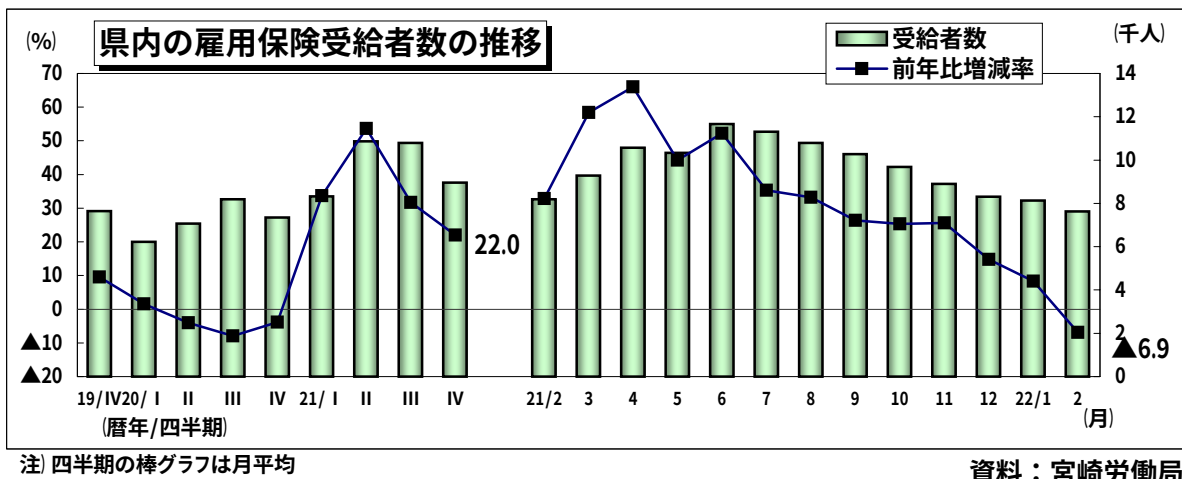
図表 1 4



図表 1 5



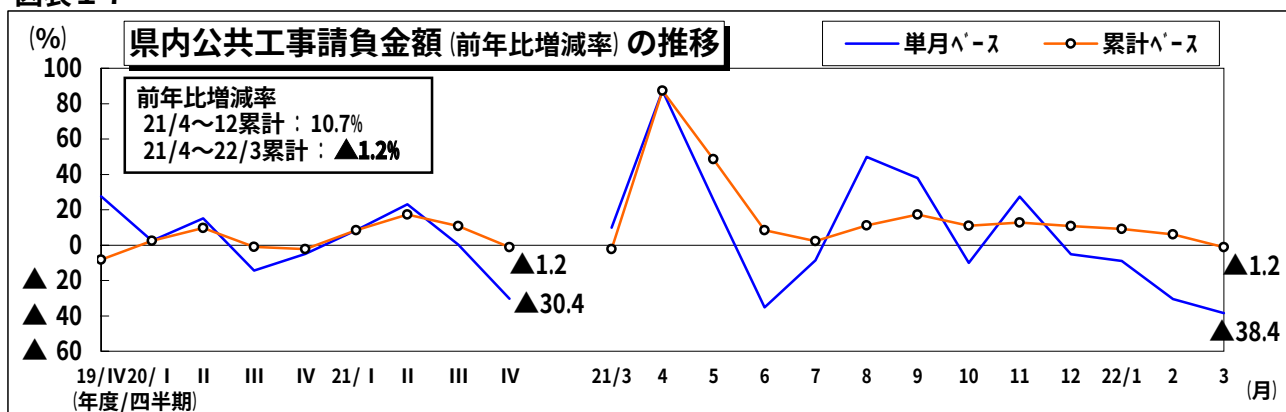
図表 1 6



8. 公共事業

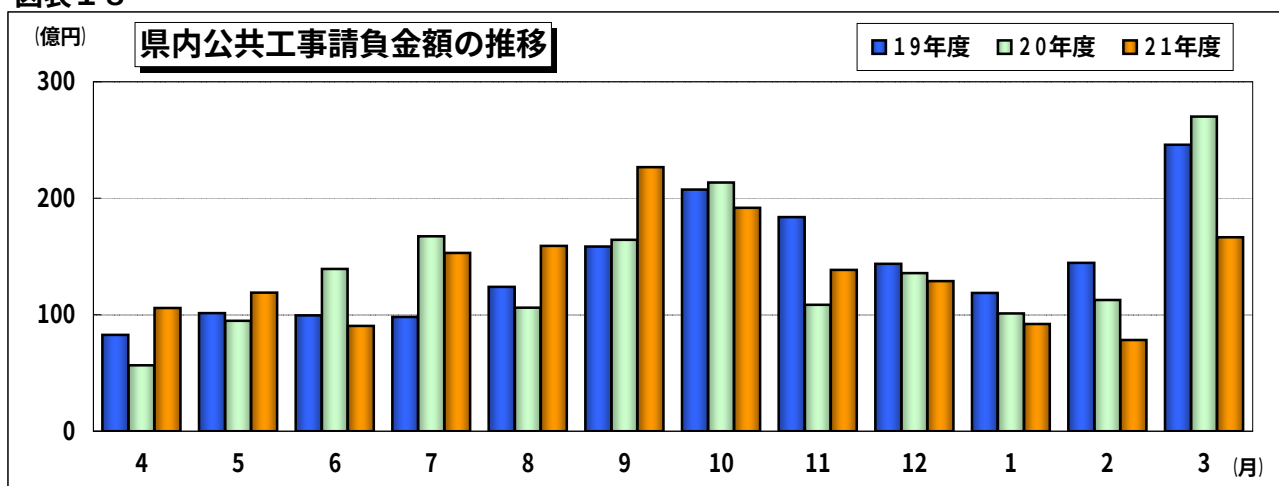
公共事業の動向を公共工事前払金保証統計の請負金額（21年度累計）でみると、前年度を下回っている。発注者別でみると、国や県などで前年度を下回っており、市町村などで前年度を上回っている。

図表 1 7



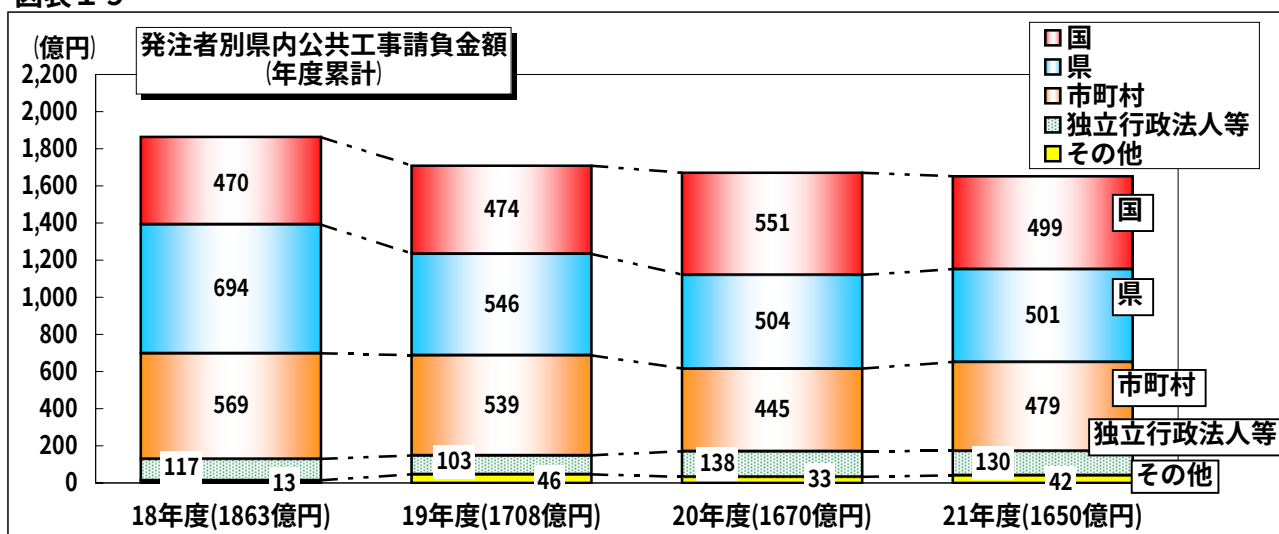
資料：西日本建設業保証株式会社外

図表 1 8



資料：西日本建設業保証株式会社外

図表 1 9



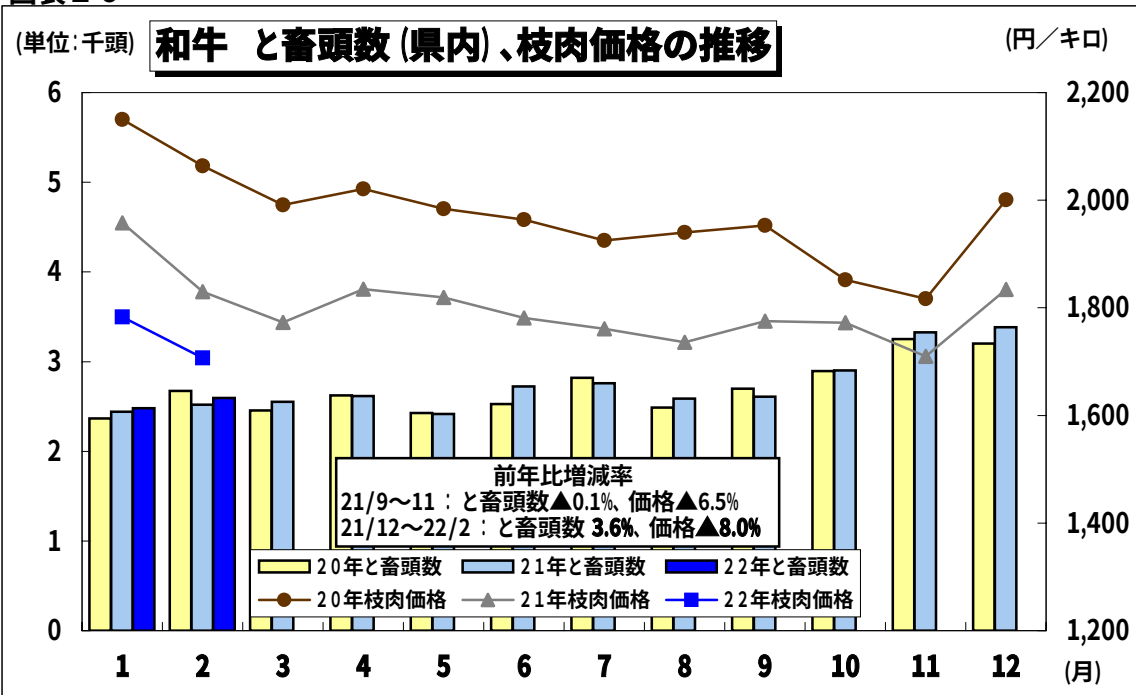
資料：西日本建設業保証株式会社外

9. 農 業

農業の動向をみると、畜産物では、和牛のと畜頭数は前年を上回り、価格は前年を下回っている。豚はと畜頭数、価格ともに前年を上回っている。ブロイラーの出荷羽数は前年を上回り、価格は前年を下回っている。

農作物では、野菜の生産量は前年を上回り、価格は前年を下回っている。

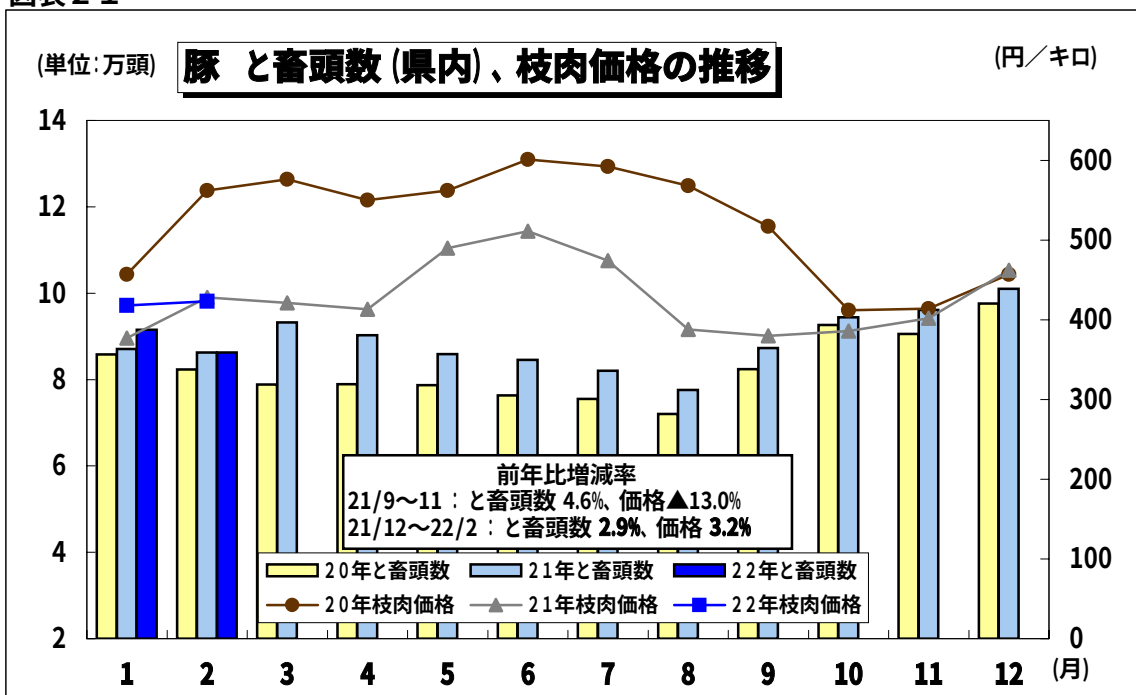
図表 2 0



(注) 価格は大阪市場去勢和牛A-4 平均卸売価格

資料：農林水産省、農畜産業振興機構

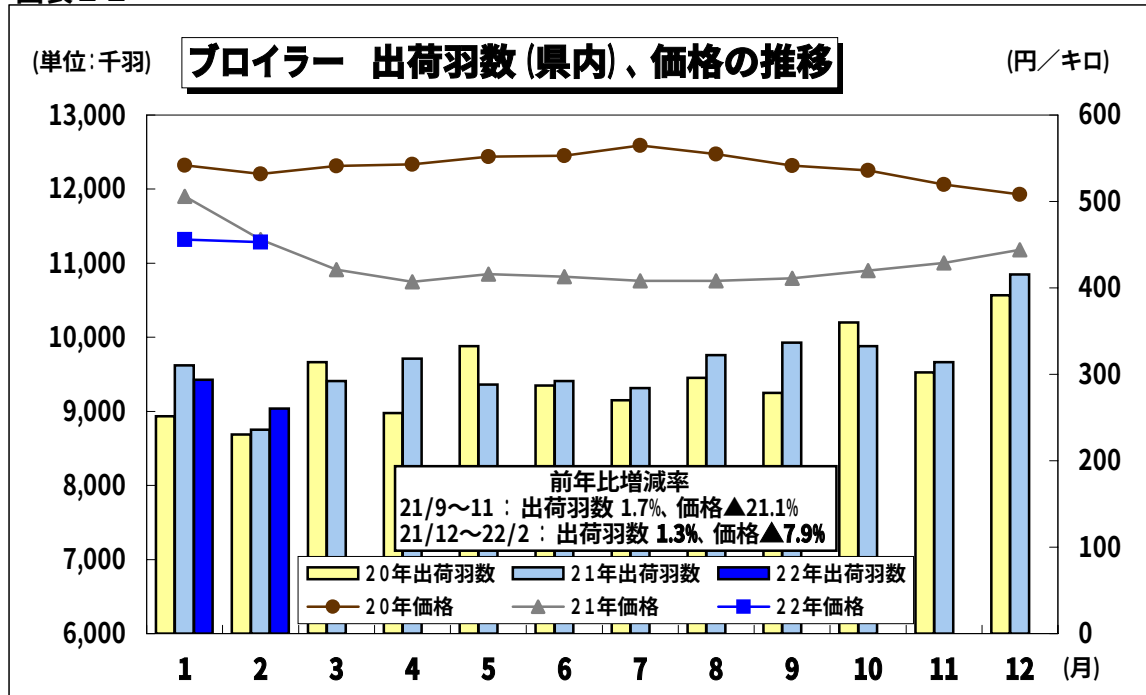
図表 2 1



(注) 価格は東京市場上物平均卸売価格

資料：農林水産省、農畜産業振興機構

図表 2 2



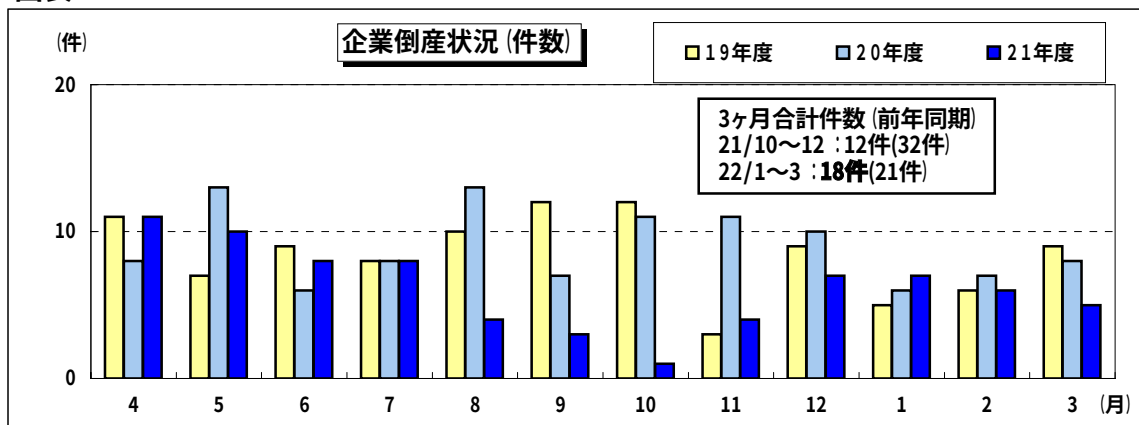
(注) 出荷羽数はブロイラー価格安定事業における出荷実績
 価格は東京市場平均卸売価格のモモ肉とムネ肉の加重平均価格

資料：宮崎県、農畜産業振興機構

10. 倒産

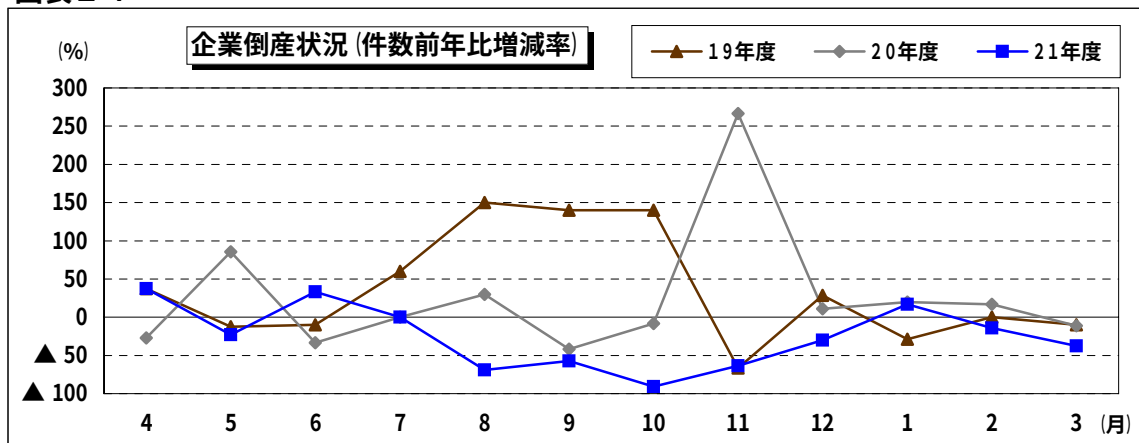
企業倒産（22年1～3月）をみると、件数は前年を下回っており、負債金額は前年を上回っている。

図表 2 3



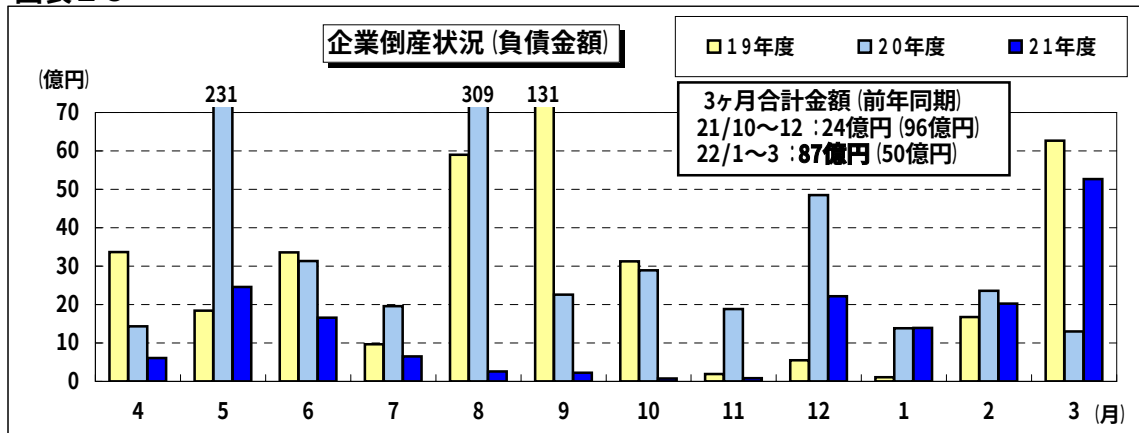
資料：東京商工リサーチ

図表 2 4



資料：東京商工リサーチ

図表 2 5

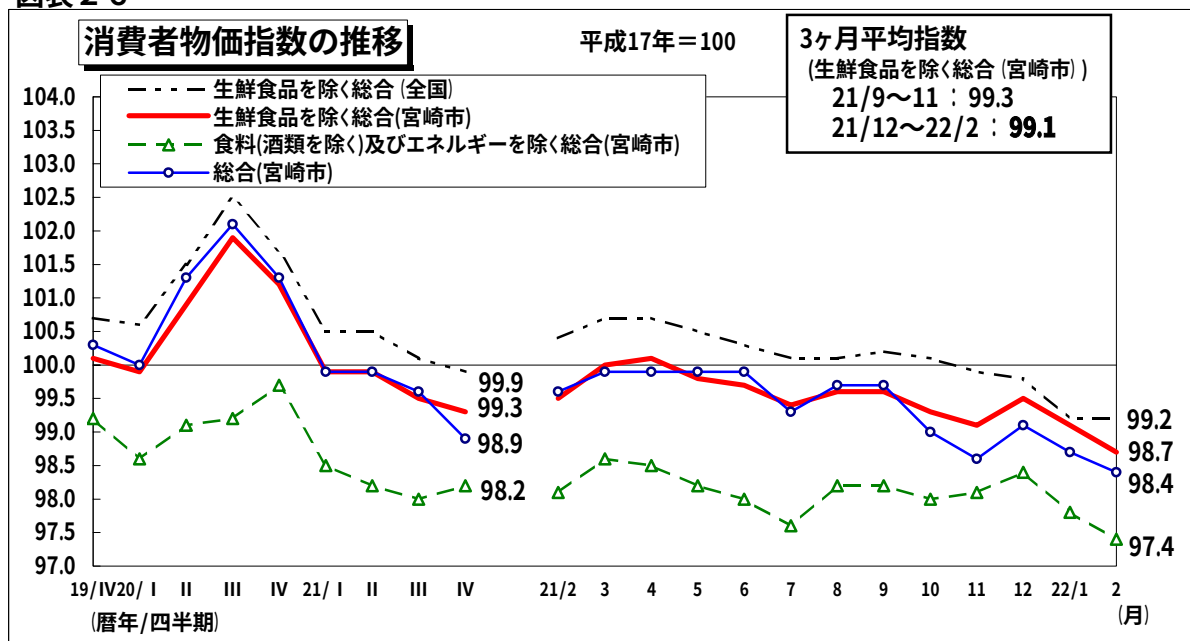


資料：東京商工リサーチ

11. 消費者物価

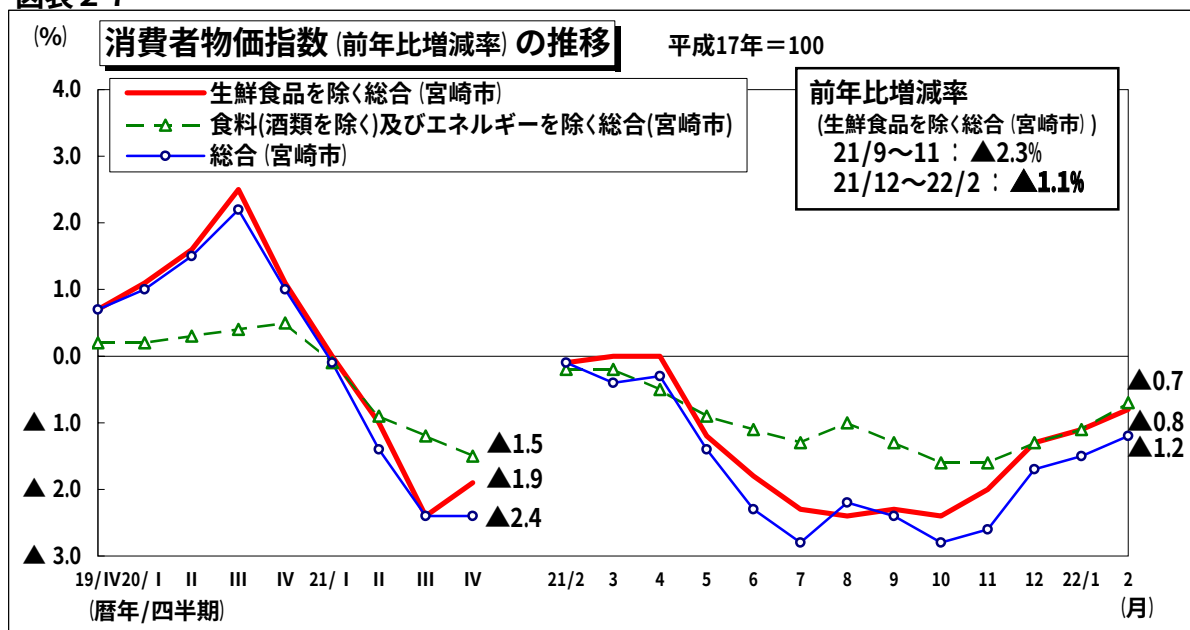
消費者物価（宮崎市：生鮮食品を除く総合）は、「交通・通信」などで上昇しているものの、「生鮮食品を除く食料」などで下落していることから、前年を下回っている。

図表 2 6



資料：総務省

図表 2 7



資料：総務省

[連絡問い合わせ先]
九州財務局宮崎財務事務所 財務課
TEL:0985-22-7101 (代)
ホームページアドレス
<http://www.mof-kyu.go.jp/miyazaki/>